

# 壁打設専用ホース

## ライトウェイトコンクリートホース 狭い型枠内打設で骨材分離を防止



- 骨材分離を防止
- 発生しない折れしわ
- 発生しないホースのバタツキ
- 無くなった袋状閉塞



ホースクリップ 501113

ホースクリップは、ホースノズル1個につき2個必要です。

SK125 5B

ホースノズル SK125 5B 252337000

このギザギザで、ホースを確実に固定します。

なぜ骨材が分離しないのか？

生コンの無い時、ホースは閉じています。

ホースはモコモコとした動きになります。

内側のゴムの抵抗で  
生コンにブレーキをかけ、  
材料分離を防ぎます。

断面図



ゴム  
ポリエステル

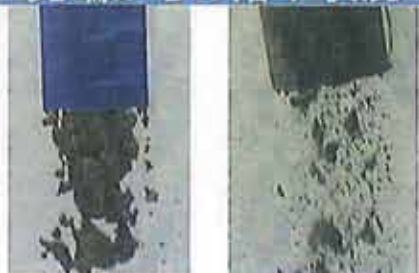


ライトウェイトホース067980008

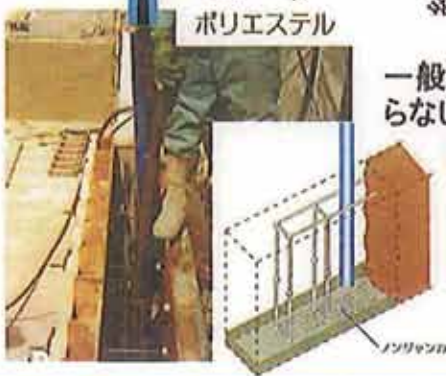
任意の長さで販売可能です。  
カッターで切断できます。

一般的な先端ホースの入らない狭い型枠や鉄筋の隙間に入れることができ、落下高を抑え、ジャンカの発生を防ぎます。

先端からの落下状況



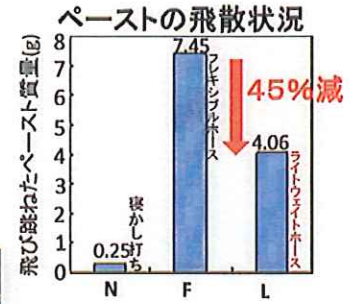
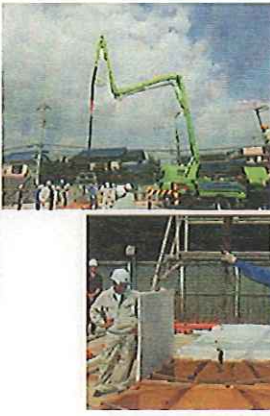
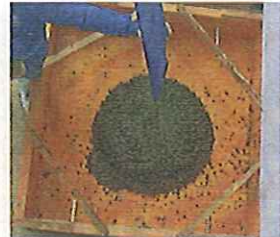
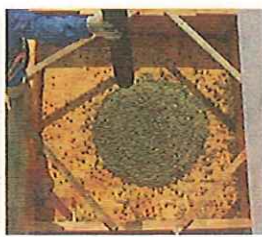
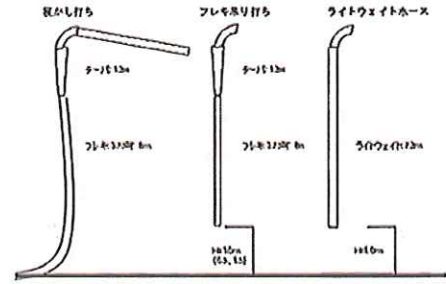
ライトウェイトホース 一般的な先端ホース



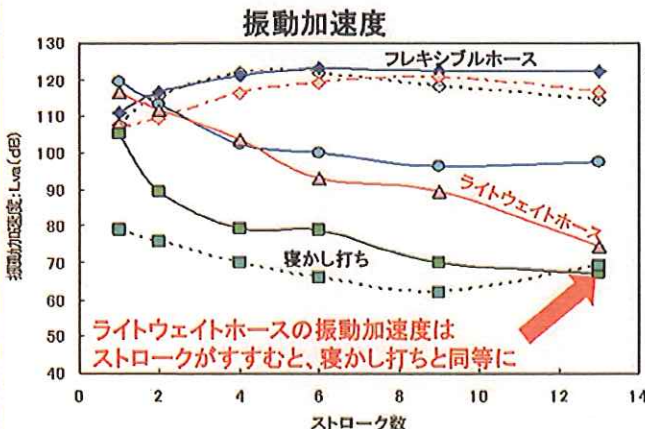
# 2011年建築学会大会で、吊し打ち実験結果が発表されました。

- 実験概要**
- 1.5m角のスラブ型枠に吊し打ちおよび寝かし打ちでコンクリートを打設
  - 吊し打ちでの打設時の状況とコンクリート品質の確認
  - 先端ホースの種別、自由落下高さの違いをパラメータとした

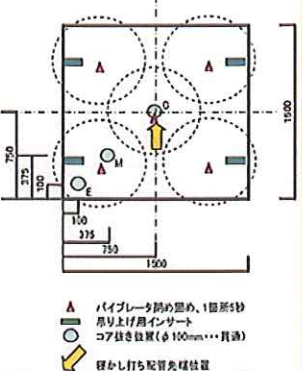
| 記号    | 作業    | ホース        | 自由落下高さ |
|-------|-------|------------|--------|
| N1    | 寝かし打ち | フレキシブルホース  | 0 m    |
| F-1.0 | 吊し打ち  | フレキシブルホース  | 1.0m   |
| F-0.5 | 吊し打ち  | フレキシブルホース  | 0.5m   |
| F-1.5 | 吊し打ち  | フレキシブルホース  | 1.5m   |
| L     | 吊し打ち  | ライトウェイトホース | 1.0m   |
| N2    | 寝かし打ち | フレキシブルホース  | 0 m    |



- フレキシブルホース ライトウェイトホース
- Fは周辺に骨材が飛び散っているがLでは少ない
- 落下速度がLの方がFより遅い



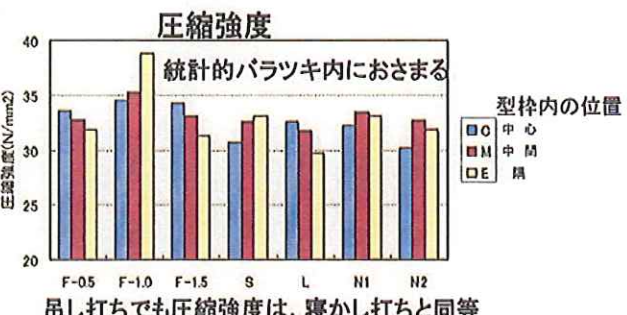
加速度計を型枠中央の裏側に取付て、打設中の振動を計測



- Fは全ストロークで120dB程度、N、Lは小さくなる
- Fでは高さが変わっても振動加速度の変化は小さい

**コテ均しの作業性**

| 記号    | 作業         | 高さ   | コテ均しの作業性 |
|-------|------------|------|----------|
| N1    | 寝かし打ち      | 0m   | ◎        |
| F-1.0 | フレキシブルホース  | 1.0m | △        |
| F-0.5 | フレキシブルホース  | 0.5m | ○        |
| F-1.5 | フレキシブルホース  | 1.5m | ×        |
| S     | S字管        | 1.0m | ○        |
| L     | ライトウェイトホース | 1.0m | ○        |
| N2    | 寝かし打ち      | 0m   | ◎        |



吊り打ちにおいても1.5m以下では分離せず、打ち込まれたコンクリートの強度は寝かし打ちと同等でした。  
**ライトウェイトホースで落下速度を抑制する効果が確認されました。**

ご使用 ご用命は、

東北工業(有)まで、ご一報を 0176-23-8244